マラウイ月報(2014年6月)

主な出来事

【内政】

- 6月2日, マラウイ選挙委員会(MEC)が国会議員選挙結果を発表。
- 6月17日, 第45回予算国会が開会。
- 6月22日, ムタリカ大統領が新内閣を組閣, 省庁統合の結果閣僚数を削減。

【外政】

- 6月5日, バンダ前ザンビア大統領がマラウイを訪問。
- 6月24日, 李熙中国国衛生・計画生育委員会副主任(副大臣)がマラウイを訪問

【経済】

- 一般財政支援グループ(CABS)議長バウムEU大使が, CABSの形態変更予定に言及。
- 6月27日, 国会は7月~10月までの暫定予算案を承認。

【内政】

・ ムタリカ大統領就任式

6月2日, 当国南部ブランタイヤ, カムズ・スタジアムにて大統領就任式が行われた。外国からの賓客としてカーマ・ボツワナ大統領, ビラル・タンザニア副大統領, ムンベンゲグウィ・ジンバブエ外務大臣, モンドラーネ・モザンビーク内務大臣, 各国大使等が参加した。西岡駐マラウイ日本国大使も式典及び大統領主催昼食会に参加した。(6月3日, ネーション紙1, 3面, デイリータイムズ1面他)

・ 国会議員選挙結果発表

6月2日, マラウイ選挙委員会(MEC)は, 5月20日に実施された国会議員選挙の結果を発表した。各党の得票率は, (与党)民主進歩党(DPP):50議席, マラウイ議会党(MCP):48議席, 人民党(PP):26議席, 統一民主戦線(UDF):14議席, 民主同盟(AFORD):1議席, マラウイ党(CCP):1議席, 無所属:52議席(補欠選挙:1議席)となり, 与党議席が過半数を大幅に下回る結果となった。(6月2日, MEC 報道発表)

・ 野党 MCP 副総裁が国会議長就任

6月16日, ムソオヤ野党 MCP 副総裁(カロンガ・ニユングウェ選出・2014 年大統領選挙で副大統領候補)が国会議長に選出された。国会議長は国会議員による投票で決定するが, ムソオヤ MCP 副総裁は 190 有効投票中 101 票を獲得し, 89 票を獲得した与党 DPP のカサイラ議員(現運輸・公共事業大臣)に勝利した。(6月17日, デイリータイムズ, 1-3面)

- ・ **第45回マラウイ国会開会**

6月17日、第45回マラウイ国会(予算国会)が開会し、ムタリカ大統領は施政方針演説を行い、ガナバンス面では公共財政管理の徹底、閣僚数削減等による歳出削減、外交面ではドナー国との対話を通じた開発外交の推進、経済面では農業の多様化や加工による付加価値の創出、教育面では大学の新設や、入学卒の増加等への施策を行う旨述べた。(6月17日、ネーション紙1面、デイリータイムズ紙1面)

- ・ **EU選挙監視団最終報告を発表**

6月18日、EU選挙監視団は5月20日のマラウイ総選挙についての最終報告を発表し、部分的な異常は指摘できるものの、計画的な不正の証拠は発見出来ないとし、マラウイ選挙委員会(MEC)の発表結果を肯定した。一方、EU選挙監視団は、選挙運動資金の財源に関する法整備の必要性、国家財源と与党資金の区別の明確化、MECの能力に適した選挙の実施のためのレビュー等が必要であるとした。(6月18日、EU選挙監視団報道発表、6月19日デイリータイムズ紙1, 3面)

- ・ **新内閣の組閣**

6月22日、ムタリカ大統領は新内閣組閣を終了し、全閣僚名を公表した。ムタリカ大統領は大幅な省庁再編・統合を行い、全省庁数を23から17へと削減、大統領・副大統領を含めた全閣僚数を32名から12名減少した20名とし、歳出削減のために全閣僚数を20名以下とする選挙公約を果たした結果となった。新内閣ではゴンドウェ財務・経済計画・開発大臣、ムッサ労働大臣、チャポンダ外務・国際協力大臣、カリラーニ保健大臣、カリアティ男女平等・児童・障がい者・社会福祉大臣等与党DPPの重鎮かつ閣僚経験者が名を連ねる中、ファビアノ教育・科学技術大臣やチエンゲベザ農業・灌漑・水開発大臣等、政界経験は少ないが担当分野で高い専門性を有する人物の起用も目立つ。(6月6日、17日、22日、大統領府報道発表、6月7～23日当地各紙)

- ・ **ムタリカ大統領の再婚**

6月21日、ムタリカ大統領はガードルード・ヘンドリナ・マセコ女史と再婚し、当国南部にて挙式・披露宴を行った。ムタリカ大統領の前妻は30年以上前に亡くなっている。南部チョロでの披露宴には、与党関係者に加え、チャクエラ MCP 総裁、西岡駐マラウイ日本大使他各国大

使、国際機関関係者等が参列した。(6月22日、ネーションオンサンデー紙3面、サンデータイムズ紙1-3面)

【外政】

・ **バンダ前ザンビア大統領がマラウイを訪問**

6月5日、バンダ前ザンビア大統領がマラウイを訪問し、民主的かつ平和に選挙を行ったマラウイ国民を賞賛した。5日夜にはムタリカ大統領主催の歓迎レセプションが行われ、与党DPP関係者の他西岡駐マラウイ日本国大使等各国大使も出席した。(6月6日、ネーション紙3面、デイリータイムズ紙2面)

・ **李熙中国国家衛生・計画生育委員会副主任(副大臣)がマラウイを訪問**

6月24日、李熙中国国家衛生・計画生育委員会副主任はマラウイを訪問し、カリラーニ保健大臣と共に首都カムズ中央病院及び北部ムズズ病院における専門的診療の強化に関する二国間合意に署名した。また、李熙副主任はマラウイに対する医療チーム派遣を継続することを約束した。(6月27日、デイリータイムズ紙3面)

・ **マラウイ・タンザニア間の国境問題、9月に交渉再開へ**

6月25日、テムベヌ法務・憲法問題大臣は、マラウイ・タンザニア間の湖を巡る国境問題にかかる協議を9月に再開する旨発言した。同大臣は、湖はマラウイに帰属するものであり、少しも譲歩するつもりはないとしつつも、前政権が平和的な解決を模索していたことは理解しており、今後も対話を優先し外交的な手段のみを用いて同問題に最終的な解決をもたらしたい旨述べ、平和的な対応を継続する立場を示した。(6月28日、ウエークエンドオンネーション紙2面)

【経済】

・ **5月のインフレ率は22.6%**

5月の前年同月比インフレ率は、22.6%であり、前月より1.3ポイント低下した。当国のインフレ率は1月に24.5%となった後、主に食糧価格低下を理由として、2月から減少傾向が継続している。(6月18日、ネーション紙9面)

・ **資源採掘契約に関する機関の設立計画**

6月17日、ムタリカ大統領は施政方針演説において、政府は、資源採掘契約に関して独立した交渉機関を設立する予定であると述べた。これは、今後当国が鉱業契約について適切に交渉を進め、鉱業分野から最大限の利益を得られるようにするためとのこと。(6月20日、ネーション紙9面)

- ・ **一般財政支援グループの形態変更**

一般財政支援グループ(メンバーはアフリカ開発銀行, DFID(英), EU, ノルウェー, 世銀。以下CABS)の議長を務めていたバウムEU大使によれば, CABSは今後, その形態を変更する予定。これは, 現行のマラウイ政府のシステムを使用した支援にはリスクがあり, 財政支援継続の意思表示をするドナーが少なくなっていることが理由。形態変更内容については今後協議が行われるが, マラウイ開発協力戦略のもと, 援助協調ストラクチャーに基づいた形態となり, 名称は変えても(同様のプラットフォームは)継続して存続し続ける予定。(6月22日, ネーションオンサンデー紙2面)

- ・ **イノベーション・チャレンジ基金の進捗**

マラウイ・イノベーション・チャレンジ基金(注: UNDPとDFIDによって立ち上げられた, 革新的なビジネス案を提案した民間企業等に対して資金援助を行うことを目的とした基金。以下MICF)によれば, MICFには多くの申請が寄せられている。MICFは現在絞り込み作業を行っているところであり, 今年10月までには第1回の資金供与が行われる予定。(6月25日, ネーション紙12面)

- ・ **2013年の対マラウイ海外直接投資は1. 18億米ドル**

6月24日, 国連貿易開発会議(UNCTAD)の2014年投資報告書が発表された。同報告書によれば, 2013年の対マラウイ海外直接投資は1. 18億米ドルであり, 1. 29億米ドルであった2012年よりも10%減少した。なお, 隣国各国の海外直接投資額と比較すると, モザンビーク59億米ドル, タンザニア19億米ドル, ザンビア18億米ドルであり, それらと比較すると当国への海外直接投資額は小さい。(6月27日, ネーション紙9面)

- ・ **グローブ・メタル・アンド・マイニング社によるニオブ採掘計画進捗**

6月26日, グローブ・メタル・アンド・マイニング社(同社の株の51%は中国国営企業が取得している)は, 当国におけるカニカ鉱山・ニオブ採掘計画に関し, 中国, 広州非鉄金属研究所(GZRINM)において(ニオブの)冶金試験を開始したと発表した。一方, グローブ社と政府間のカニカ鉱山の開発契約交渉については, 現在最終段階である。(6月27日, ネーション紙9面)及びデイリータイムズ紙12面)

- ・ **葉タバコ生産見積もり**

葉タバコ統制局(TCC)は、今年の葉タバコ生産量見積もりを元々の19.8万トンから19.3万トンへと下方修正した。これによれば、葉タバコの総取引額は3億米ドルとなる予定であり、昨年の3.6億米ドルの総取引額と比較すると減少となる。6月末時点で11.4万トン、約2億米ドルの葉タバコの取引が完了している。(6月28日、マラウイニュース紙5面及び6月30日、デイリータイムズ紙9面)

- ・ **暫定予算(歳出)案の承認**

6月27日、ゴンドウェ財務大臣は第45回国会に対して、7月1日～10月31日までの暫定予算(歳出のみ)案を提出し、承認された。承認された暫定予算は歳出のみ2100億クワチャ(昨年度予算の歳出額6382億クワチャの約3分の1)であり、これは、過去の歳出額に基づいて算出された。内訳については、今後財務省にて決定される予定。今年度については、歳入の内、多くの割合を占めるドナーからの財政支援の多くがコミットされておらず、引き続きコミットを求めてドナーと協議する必要があること、選挙後直後であったために本予算案を作成する時間が無かったことが、暫定予算案提出に至った理由。(6月27日、デイリータイムズ紙3面)